

The 10th

MEDIA

UNIVERSAL

DESIGN

COMPETITION



作品集

第10回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション

第10回 経済産業大臣賞 一般の部
知っておきたい！公衆電話

大阪シーリング印刷株式会社
中原 聡美、宮西 麻紀、杉原 啓二、秋月 崇志、
酒井 麻衣、坂本 綾香、増山 由佳 (大阪府)



第10回 経済産業大臣賞 学生の部
VOLU BAN(ボラバン)

大阪市立デザイン教育研究所
濱田 貴光



まえがき

全日本印刷工業組合連合会教育・研修委員会では、2017年1月に開催いたしました「第10回メディア・ユニバーサルデザイン(MUD)コンペティション」におきまして高い評価を得た作品を、受賞作品集として冊子にまとめました。

今回は全国から239点(一般部門:67点、学生部門:172点)に加え、小学校2校より作品の応募をいただきました。これらの作品については審査会で厳正なる審査が行われ、全20点の受賞作品が決定いたしました。

それぞれの受賞作品には審査委員による講評を掲載していますので、メディア・ユニバーサルデザインについてさらに深くご理解いただくためのツールとしてご活用いただければ幸いです。

最後になりましたが、本コンペティションの趣旨にご賛同いただきご後援・ご協力を頂戴しました官公庁・企業・団体の皆様、および作品のご応募を頂戴しました皆様、審査会にてご参加いただきました審査委員の皆様にお礼を申し上げます。

全日本印刷工業組合連合会
会長 臼田 真人
CSR推進委員会
委員長 三島 秀夫

第10回

メディア・ユニバーサルデザインコンペティション 応募数



第10回

メディア・ユニバーサルデザインコンペティション 講評

メディア・ユニバーサルデザインコンペティションも節目となる第10回を迎えた。一般・学生からの応募作品数は前回は下回ったが、千葉県と福岡県の小学校からの出品があり、社会のユニバーサルデザインへの関心の高さを改めて示すことになった。両校には審査委員特別賞を贈ることとし、小学生の作品については別枠としたが、作品の中には佳作に入賞してもおかしくない素晴らしいアイデアに溢れたものもあった。近年の学生の応募作品に元気がないが、小学生を見習ってこの状況を打破するような「弾けた」アイデアを臆せず提案してもらいたい。

一般からの作品については、前回同様に既に製品化されている作品が複数入賞した。制約が多くなるため止むを得ないところもあるが、製品としてまだまだ工夫・改良の余地がある作品も多かった。入賞作品に限らずそのような点を講評として伝えられないことは心苦しい限りだが、ご容赦いただきたい。入賞を逃した作品については、工夫・改良の余地が大きかったのだと、改めて作品に向き合ってみてほしい。

また、今回は販売されている自社製品をMUDに配慮し改良した作品も入賞した。コンペのためにゼロから企画するよりも制作は容易であるし、改良前の作品と比較できることでMUDの理解度を評価しやすいので、次回以降は改良前と改良後の作品をセットとした出品が増えることを期待したい。

これまでのコンペティション入賞作品のうち、優秀な作品については製品化がなされている。今後は製品を通じたメディア・ユニバーサルデザインの更なる周知・啓発のため、審査も製品化を意識したものになり、より完成度の高さが求められることになるので、出品の際にはそのことを念頭に置いてほしい。一方でコンペティションのもうひとつの目的は印刷技術の向上である。コンペティションはMUDをどれくらい理解し実践できるかを試す場でもあるので、一般・学生を問わず、固く考えすぎず積極的に作品の制作に取り組んでほしい。

知っておきたい！公衆電話

大阪シーリング印刷株式会社

中原 聡美、宮西 麻紀、杉原 啓二、秋月 崇志、酒井 麻衣、坂本 綾香、増山 由佳（大阪府）



工夫点

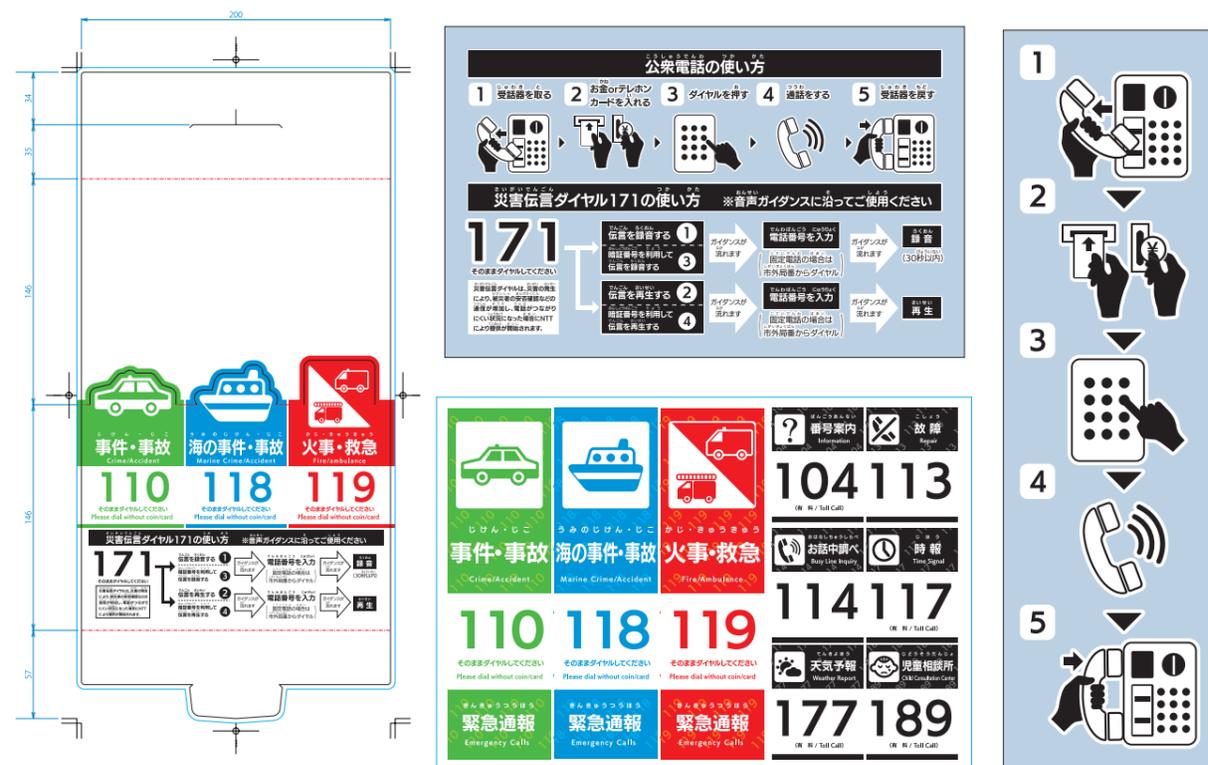
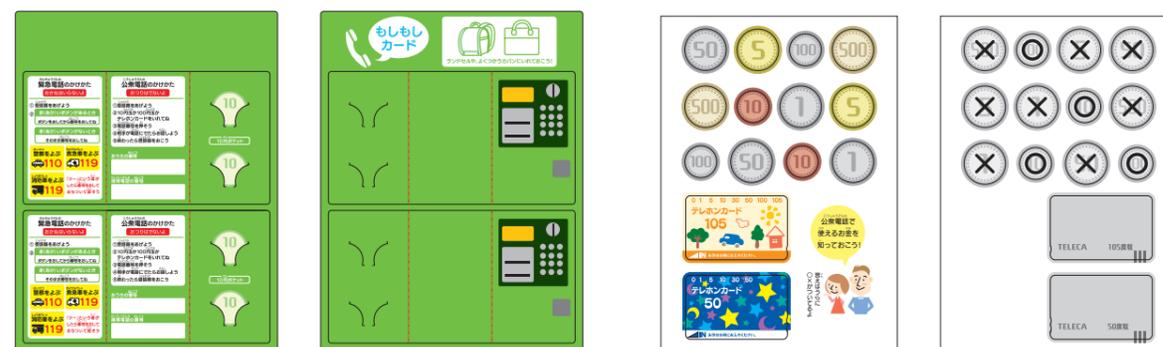
私たちが公衆電話を使うときというのは総じて「緊急のとき」です。緊急のときだからこそ「公衆電話の使い方がわからない」や「とっさに110や119の意味が分からない」では困ります。私たちは、公衆電話を使用する全ての人、特に公衆電話を使ったことのない若い世代の人たちが疑問に思うことをMUDによって解決したいと考え、本作品を提案します。

「公衆電話に設置するアイテム」は、公衆電話を使用する全ての人を対象とし、ピクトグラムを使って、誰にでも分かりやすく使い方を示します。

「教育ツール」は、知識をもたない子供たちを対象とし、おもちゃ感覚でつくるパッケージやステップアップしながら公衆電話の使い方をマスターする小冊子など、遊びながら楽しみながら学習できる工夫を凝らしました。

講評

公衆電話の使用経験が無い小学生が2人に1人いるという現状を踏まえた作品。ハンドブックからシミュレーション用の模型、更に硬貨を入れるポケットまで用意し、単に使い方を勉強できるだけでなく、日々使うところまでフォローしているところが素晴らしい。小学校での講義に使える良い作品である。こういう作品を制作しなければならないという状況に正直驚きもあるが、緊急時に使えるツールとして、公衆電話があるということ遊びながら学べるという点は良い。近年起きた誘拐事件において公衆電話が注目されたこともあったが、忘れさせられかけている資産をもう一度着目し、新たな価値としてそれを使おうとする方向性を評価したい。



VOLU BAN (ボラバン)

大阪市立デザイン教育研究所 濱田 貴光 (大阪府)



工夫点

- ・ 健常者だけでなく、色覚障がい者、色覚異常者の人達でもパッと見ただけで伝わりやすくわかりやすいカラー、マークにした。
- ・ 健常者、障がい者分け隔てなく誰でも簡単に使えるように単純なデザインにした。

講評

ボランティアへ色分けした腕章を配るとことは一般的に行われていることだが、その腕章を使い捨てにしたことは新しい発想ではないだろうか。空港で旅行カバンにつけるようなタグのシステムを、使いやすい仕組みで腕章を作り、その腕章をカラフルに色分けし、その色も色覚障がい者にも分かり易い色にしてある。尚且つ自分の名前も書ける名札機能も組み込んでおり、ボランティアが避難所でどういったニーズがあるかをよく考えて作られている。ボランティアを非常に短時間で仕分けし、現場に行って作業してもらえることは、現場にとってはありがたい。プロダクトリアリティが高い作品である。

Calla MUD 災害時使い切り腕章テープ VOLU BAN

使用用途

VOLU BAN (ボラバン) は、自然災害などが起こった際に活動する災害ボランティアのスタッフの人達に使用してもらい簡易的な使い捨ての腕章である。
災害ボランティアのスタッフが担当する活動の種類 (生活支援、洗濯、買い物、話し相手など) を区分するために用いる。
種類は、資格などを必要としない一般の人を対象としたボランティア。



メディアユニバーサルデザインに配慮した点

- ・ 健常者だけでなく、色覚障がい者、色覚異常者の人達にもパッと見ただけで伝わりやすくわかりやすいマーク。
- ・ 健常者、障がい者分け隔てなく誰でも簡単に使える使いやすさ。

よく使われる色づかい

カラーユニバーサルデザイン推奨配色セット

参考にした色覚障がい者のためのカラー、色沢、ビクトグラム。

作品イメージ

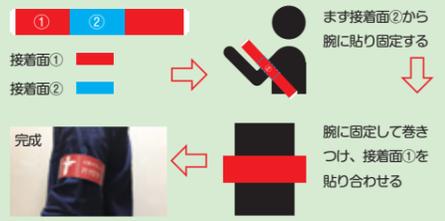
| | |
|--|--|
| | 洗濯 避難所における洗濯や持ち帰り洗濯 |
| | 買い物 避自宅被災住民、避難所生活者のための買い物代行 |
| | 話し相手 避難所や福祉施設の要配慮者の心のケア |
| | 片付け 被災住民の片付け、家具の移動、屋外のがれきやゴミの片付け手伝い |
| | 水運び 避難所や被災住民宅への水運び |
| | 留守番 自宅被災住民が家を空ける時の留守番や要配慮者宅での補用 |
| | 仕分け 避難所や救援物資受入れセンターなどの物資仕分け |
| | 安否確認 被災地で安否が確認されていない家庭への訪問と安否確認 |
| | 情報提供 要配慮者への生活関連・福祉・医療・保健等各情報の伝達と周知 |

寸法



テープにした利点

- ・ 大勢の災害ボランティアの志願者がきても簡易的に素早く区分けが出来る。
- ・ ビニル製の腕章などはコストがかかるが、テープなら低コストで大量に扱う事ができリサイクルも可能
- ・ テープだから、破れたりしても貼り直したり交換などがしやすい。



プロトタイプ



作品イメージ (Another version for MUD)

| | |
|--|--|
| | 洗濯 避難所における洗濯や持ち帰り洗濯 |
| | 買い物 避自宅被災住民、避難所生活者のための買い物代行 |
| | 話し相手 避難所や福祉施設の要配慮者の心のケア |
| | 片付け 被災住民の片付け、家具の移動、屋外のがれきやゴミの片付け手伝い |
| | 水運び 避難所や被災住民宅への水運び |
| | 留守番 自宅被災住民が家を空ける時の留守番や要配慮者宅での補用 |
| | 仕分け 避難所や救援物資受入れセンターなどの物資仕分け |
| | 安否確認 被災地で安否が確認されていない家庭への訪問と安否確認 |
| | 情報提供 要配慮者への生活関連・福祉・医療・保健等各情報の伝達と周知 |

ろう者が中にいます

株式会社進和クリエイティブセンター 黒沢 誠一（福島県）



火災など緊急の際はウラ面の方法で

火災など緊急の際は

● 電灯を点滅させる

（スイッチで点滅できない時は、窓やすき間から懐中電灯で）

● 振動が分かるほど強くドアをノックする

などで知らせてください

工夫点

トイレなどの個室をろう者が利用する際にドアの表に掲示するツールです。

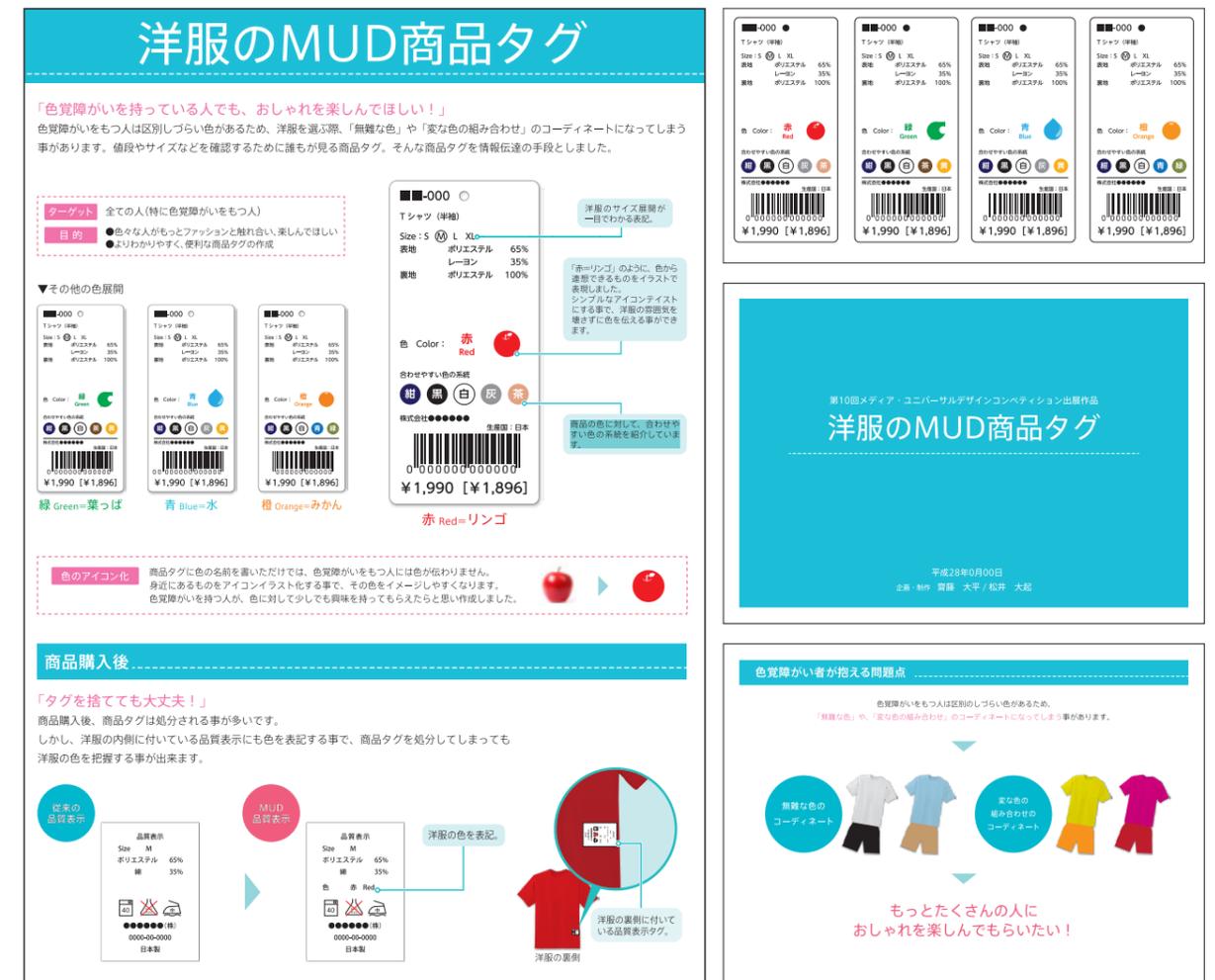
- ・片手でトイレのドアを触り続ける煩わしさがなくなる。
- ・ノックが返らないイライラがないので、誤解からいられるなどのトラブルがなくなる。
- ・ポケットに入れて携帯できるサイズ。

講評

表面の「ノックをしても聞こえません」というのはただの告知だが、裏面には、耳が聞こえない人が中にいて、顔が見えない時に、どうやって緊急を伝えるか、普通は分からないことが書いてある。電灯を点滅させる、ドアを強く叩くといった、その人が障がいによって何が出来ないか、こういう風にして欲しいというところまで書いてあることに非常にリアリティを感じる。色弱障がい者もドアのロックの色が分からず、人が中にいるのにノックをしたりされたりすることがあるので、聴覚障がい者以外の方でも使えて便利かもしれない。健常者が考えている以上に、障がい者の持つ緊急時への不安は大きいことを認識させてくれる作品である。

洋服のMUD商品タグ

杉山メディアサポート株式会社 齋藤 大平、松井 大起（静岡県）



工夫点

色覚障がいを持つ人は区別しづらい色があるため、洋服を選ぶ際、「無難な色」や「変な色の組み合わせ」のコーディネートになってしまうことがあります。値段やサイズなどを確認するために誰もが見る商品タグ。そんな商品タグを情報伝達的手段としました。

講評

商品タグに色目を書くものは無いわけではなかったが、タグを取ってしまうと色目が分からなくなってしまうものだった。この作品は商品タグに加えて、服についている洗濯タグにも色を書いておくというところが非常に新しい。服の組み合わせのカラーまで言及されており、視覚障がい者でもお洒落がしたいという当たり前の欲求、ニーズに応えようとしている。ありそうで無かったアイデアであり、是非普及して欲しい。

防災ハンドブック

株式会社一心社 制作部 (大阪府)

The image displays a comprehensive set of disaster preparedness materials. On the left is the cover of the '防災ハンドブック' (Disaster Handbook) for Akiba Building NBF Tower, featuring contact information and a QR code. To the right are several flowcharts: '応急処置' (First Aid) for AED use and CPR, '119番通報フロー' (119 Dispatch Flow) for fire and medical emergencies, and '火災発生時のフロー' (Fire Occurrence Flow) detailing evacuation steps. Below these are two '緊急・非常時連絡カード' (Emergency Contact Cards) designed for family use, with sections for family meeting points, common contacts, and notes.

工夫点

- 色とデザインの調整
 - ①各カテゴリーが同色で隣り合わないよう工夫
 - ②赤色を調整
 - ③ピクトグラムとイラスト使用
 - ④ストーンペーパーを使用
- ユニバーサルデザインフォトを使用

講評

防災ハンドブックはよくあるものだが、サイズ的にも財布・名刺入れに程コンパクトで、その職場で働いている人全員に配れるようなものとして作られている作品はこれまであまり無かった。防災ハンドブックは大抵単色や色数を抑えて作られるが、この作品では多くの色を使いながらも、地図に縁取りが入っているなど工夫が凝らされ、見やすく作られている。また付属の緊急・非常時連絡カードを2つに分けて家族と本人でそれぞれ持てるようにし、家族はどこのビルに勤めているのか、家族の広域避難所はどこか、共通の連絡する人は誰かを書けるようにしているアイディアは面白い。非常に完成度が高い作品である。

将棋チャート

芝浦工業大学 伊藤 崇真 (東京都)

The image shows a Shogi board with a '将棋チャート' (Shogi Chart) overlay. The chart is a grid-based system designed for accessibility, featuring color and texture adjustments for different pieces. A legend explains the design for various groups: '健常者' (Sighted), '色盲の人' (Color blind), '全盲の人' (Blind), and '字の読めない人、初心者' (Non-literate and beginners). The legend includes a 'レーダーチャート' (Radar chart) for color and texture, and a '将棋駒' (Shogi piece) for texture. The board shows pieces like '歩兵' (Pawn), '王将' (King), '金将' (Gold), '銀将' (Silver), '桂馬' (Knight), '香車' (Bishop), '飛車' (Rook), and '角行' (Bishop).

工夫点

視覚障がい者でも楽しめる将棋という考え方ではなく、健常者と一緒により楽しめるという考え方で、ユニバーサルデザインを意識して考えました。そのために、ただ凹凸をつけるだけでなく、レーダーチャートという要素を加えて、分かりやすくかつ遊び心のある将棋にしました。

講評

将棋の駒に動く向きが示されているものは既に市販されているが、この作品では幼稚な形ではなく、デザインとしてお洒落に仕上げられている。駒のそれぞれの形に凹みがあるので、目の見えない人でも使用できるようになっており、裏面も同様なのでフォローが良く出来ている。障がい者ばかりに意識した作品が多い中、コンセプトとして健常者と障がい者を意識している、MUDの本来のコンセプトに沿っている作品である。

紙エコペーパークラフト シロクロどうぶつ

株式会社野毛印刷社 井田 清美

ハサミも糊もテープも使わずに組み立てられるペーパークラフトの自社製品を、MUDに配慮しリニューアルした作品。組み立て方の矢印が少し見にくいところもあるが、細かいところまで手が加えられた完成度の高い作

品である。是非このリニューアルした作品を製品化進めてもらいたい。次回以降、このような既製品をMUD化した作品が多く出品されることを期待したい。

MAG-BOARD (マグ・ボード)

松本印刷株式会社 赤井 正幸

マグネットを張り付ける時間割というのには既に商品としてあるが、この作品のように、色により科目がすぐわかるようにし、色が分かりにくい人には模様により区別できるように配慮しながらも、パツと見の完成度の高い

ものはないのではないか。小学校の教室の時間割表は、担任教諭や生徒によっていろいろ作られているのだが、地味なものも多いという。まだ改良の余地はあるが、見た目が楽しいこの作品を利用するのも良いかもしれない。

童謡フェスティバルぬまづ ポスター

東邦印刷包装株式会社 島津 早樹子

一見どこにでもあるようなポスターだが、よく見ると、コントラスト、フォントに工夫を凝らし、どのような人が見てもバランスの良いリズム感あるカラフルな作品である。白ふちを多用しているが違和感がなく、直観的で

分かりやすく仕上げている。まだ一般的ではない、普通のポスターをUDに配慮して制作しているところも評価したい。これまでのポスター作品の中でもトップレベルの完成度である。

ダンボールで遊ぼう！シールセット

大阪シーリング印刷株式会社

町田 愛子、相田 智孝、籠谷 昌典、山田 あゆみ、白川 舞、北野 紗代、久保 祐大

避難所・防災グッズは様々なものがあるが、精神的ケアを目的としたものは少ない。避難所で子供がやる事が無く時間を持てあましてる時に、余っている段ボールにシールを貼って避難所の子供向けの遊具を作るとい

うこの作品は、避難所での生活の質を上げるという意味で新しい切り口の提案である。シールがあるだけで、段ボールを使い低コストで、工作も楽しめるという、ワークセットとしても販売できるような作品。

その電話、詐欺かも？大事なお金を渡さないで！～特殊詐欺防止の手引き～

広和印刷株式会社

中谷 博之、坂越 生章、細川 直樹、武内 繭、中村 教泰、小原 尚之、黒江 ひとみ、渡邊 菜月、前田 紗希、景山 歩美、松浦 克哉

振り込め詐欺などの特殊詐欺に対するパンフレットは多くあるが、パンフレットを読んだ後にも使えるように、決めた合言葉を書いておくプレートや筆入れ、合言葉を

知人に伝えるハガキを含めたキットとして作られた、通常の啓発ポスターとは一段レベルが違う作品である。色文字やグラフに若干見づらい箇所があるのが残念。

取扱店設置用振込用紙パンフレット

株式会社スタジオネ 63 織田 由佳子

コンペティション用に企画した作品と違い、実際の製品では制約が多い中で、色を多用し、強調したい箇所は文字を大きくするなど工夫を凝らした秀逸な作品。完成

度は高いがまだ工夫できる箇所はある。MUDを常にクライアントに提案している姿勢は、是非見習ってほしい。

UD カレンダー

芝浦工業大学 新谷 賢汰朗

カレンダーの出品は毎年あるが、この作品では休日と祝日のデザインを変えているのが新しい。カレンダーに求められる機能・要素をきちんとクリアし、デザインも

まとまっている。控えめな色遣いだが、毎日見るカレンダーとしては丁度良い。強いて言えば、土曜日と日曜日はもう少し違いを出しても良いかも知れない。

MUD バスの時刻表

芝浦工業大学 水田 怜央

時刻表が時計と同じ形をしている斬新な時刻表の提案。バスの発車時間が時計の長針の方向にあるので、バスの来る時間を直感的に分かるようになっている。本数の多いバス停では難しいが、少ないバス停であれば採用可能

なアイデアである。ただ色やデザインにもう一步工夫が欲しかった。丁寧に仕上げれば優秀賞も狙えた作品である。

MUD こどもびょういん パンフレット

東京都立工芸高等学校 (グラフィックアーツ科)

佐藤 悠太、上村 大翔、岩切 佑希、小牧 南斗、佐藤 さくら、行方 里奈子、三国 祐希、納田 知波、真嶋 優衣

子供に親しみを持てるように作られた病院の紹介パンフレット。内容が浅いのは残念だが、イラストは作り込んであり、色も多彩で、なおかつ色覚障がい者にも見や

すように工夫してある。高校生の作品としては非常に良くできている。

こおれる町の悪魔 THE DEVIL OF THE FROZEN TOWN

常葉大学 松村 綾香

ストーリーが1行ごとに日本語版、英語版がそれぞれ並べてあり、中学生の英語の勉強にも使えるような絵本。絵がお洒落でかわいく、装丁もしっかりしており、すぐ

に販売できそうな仕上がりである。絵のあるページで若干文字が読みにくい箇所があるのが惜しい。

おやこの防災ルール

大阪市立デザイン教育研究所 加藤 咲

家族間の防災ルールを予め話し合い、Q&Aでまとめ置く為のツール。色使いはシンプルで、書くところが分かりやすく、すぐに使える程実用的にできている。子

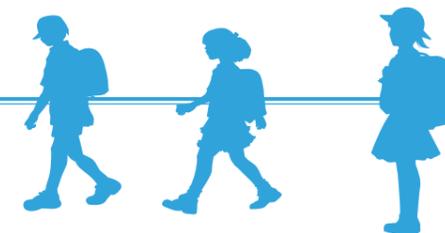
供には、対話をし、その記録を残し、また見せるという反復して伝えることが大事であり、この作品はその行動パターンに対応できている。

足元からマナーを呼びかけるフロアシート

山口芸術短期大学 布施 夏暉

マナーシートを床に貼るという発想は既に駅などで使用されているが、この作品のいくつかのデザインは新しいものである。壁や天井に貼るマナーシートは多いが、

床に貼ると多くの人にとって見やすいので、もっと床面を利用した、シリーズ化したものが市販できれば良いのではないだろうか。



志免町立志免中央小学校（福岡県）

福岡県の志免町立志免中央小学校の5年生38名より、デザインコンセプト45作品が出品された。その中から審査委員の評価が高かった4作品を紹介する。

5.絵に書いてみましょう。 名前(市倉 幸那)

このカメラが目を代わって時刻を読み取り、目が見えない人には画面に点字が表示されます。この目ざまし時計はだれでも使えて健康な目ざまし時計です。くぎのところはドライバーがいらすにあくので高齢者でも安心です。

〇 使い方や工夫・アピールポイントを書きましょう。

光がよほしに明るくしてあける健康な目ざまし時計です。目の聞こえない人は音声表示がでたりします。目の見えない人には画面に点字が表示されます。この目ざまし時計はだれでも使えて健康な目ざまし時計です。くぎのところはドライバーがいらすにあくので高齢者でも安心です。

5年1組 市倉 幸那 「だれでも使える健康目ざまし時計」

〇講評

多機能のバリアフリー時計。どんなタイプの障害を持つ人がいて、それらの人に何をすれば良いのかを非常に勉強し、実際の目ざまし時計もよく観察した上で、複雑な仕組みを考えていることが伺える。作ろうと思えばすぐに作れるアイデアなので、メーカーには是非検討してもらいたい作品である。

5.絵に書いてみましょう。 名前(柴田 未侑)

晴れたらカーテンに太陽の絵がうつされる。雨だったらカーテンにみすたまようがうつされる。外に出ず、天気を見なくてもカーテンで分かる。

〇 使い方や工夫・アピールポイントを書きましょう。

晴れたらカーテンに太陽の絵がうつされる。雨だったらカーテンにみすたまようがうつされる。外に出ず、天気を見なくてもカーテンで分かる。

5年3組 柴田 未侑 「まほうのカーテン」

〇講評

カーテンを開けてしまうと分からない外の天気を、壁やスマートフォンではなく、カーテンに天気を写すという非常に素晴らしい発想。実際に製作できないかと考えさせられる。寝たきりなど、カーテンを自分で開けられない人のために考えたのではないかと、優しさを感じさせる作品。

5.絵に書いてみましょう。 名前(尾嶋 亮二郎)

このボタンをおせば、自動でアタマが動く。このボタンをおせば、自動でアタマが動く。このボタンをおせば、自動でアタマが動く。

〇 使い方や工夫・アピールポイントを書きましょう。

取手がついていて手であけるタイプのレンジは頭に当たったりすることがあるので、自動ドア。しかもあたためたけいなく、冷やすこともできる。また、そのあたため、冷やしの強さを調節できるので、女子生のようにアレンジしたりできる。しかも健康な食べ物をおいしく食べられるので、病弱なども減り、健康な世の中になる。あと、仕事に行きたくて車月を早く食べたいときなどに役に立つ。

5年2組 尾嶋 亮二郎 「超（スーパー）電子レンジ」

〇講評

前開きではなく、観音開き、しかも自動にスライドで開く電子レンジの提案。大抵電子レンジは大人では気にならない高さにあるが、子供の身長や車いすの方では頭の位置にあり、開くと頭にぶつかることがある。大人の頭の高さであれば、前開きではなくスライド式になっていることが多いのに、大人に対する配慮が子供にはできていない現状がある。そんな大人の気付かないバリアに気づかせてもらった作品である。

5.絵に書いてみましょう。 名前(森松 和奏)

使用方は、点字ブロックより、先に10センチとセンサーがなり、目が見えない人でも、おとでわかるし、耳がきこえなくてもセンサーのいうてわかる。電車に乗るときはセンサーがならなく、しくみにあります。

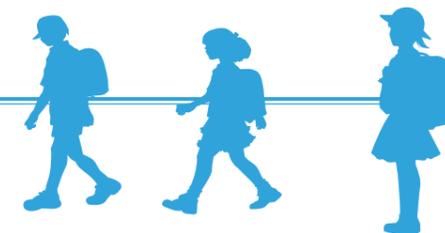
〇 使い方や工夫・アピールポイントを書きましょう。

使用方は、点字ブロックより、先に10センチとセンサーがなり、目が見えない人でも、おとでわかるし、耳がきこえなくてもセンサーのいうてわかる。電車に乗るときはセンサーがならなく、しくみにあります。

5年4組 森松 和奏 「せんろセンサー」

〇講評

視覚障がい者が駅のホームから転落することは問題になっており、大抵の場合、柵やホームドアの設置で対策することになるが、設置費用や車両のドアの位置が問題になり、思考停止になりがちである。ドアがなくとも注意の警報が分かればよいと考えれば、混雑する駅では難しいが、地方の駅では、センサーとスピーカーを付けるだけで対応できるのではないかと、新しい技術を使って解決していこうという姿勢に感銘を受けた。



小学校 UD 出前授業報告

小学校4年生の国語にユニバーサルデザイン関連の内容があり、総合学習の時間を使って若松小学校の協力のもと「小学校 UD 出前授業」を行なった。10月下旬UDの導入部分についてD&Pメディアの小粥が1時間×3クラスを行なった。

その後先生よりUDについて学習し、12月にUDについて調査研究したことを発表する方針を説明。最終的に「身近にあるUDについて調べる」班と、「オリジナルUD商品についてかんがえる」班に分かれた。

12月下旬に発表会を2時間かけて行い、講師は各クラスを巡回し傍聴し、時折寸評を行なった。

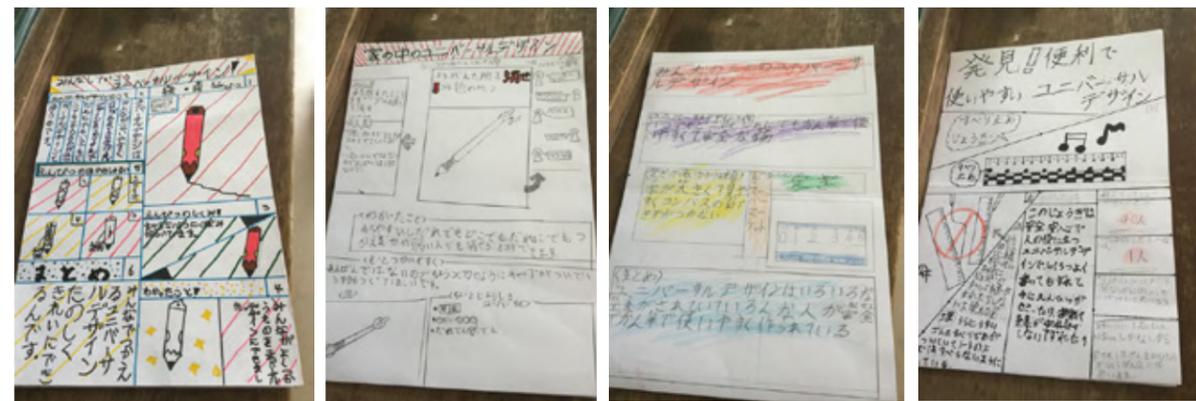
今回若松小学校は学年全体でUDに取り組んだため、各々の作品としてではなく、学校全体の取り組みとしてこのデザインコンペに応募した。



▶グループ発表の班



▶オリジナルUD 商品開発の班



○講評

千葉県の千葉市立若松小学校からは、ユニバーサルデザインの授業の報告書の出品があった。正確には作品ではないが、小学校におけるユニバーサルデザインの教育の一端を窺う貴重な内容である。今回4年生が「身近にあるUDについて調べる」班と、「オリジナルUD商品についてかんがえる」班に分かれて発表を行っているが、次回は「オリジナルUD商品についてかんがえる」班での発表作品を出品してもらいたい。

発行 2017年5月25日

発行者 全日本印刷工業組合連合会
CSR推進委員会

発行所 全日本印刷工業組合連合会
〒104-0041
東京都中央区新富1-16-8
Tel. 03-3552-4571
Fax. 03-3552-7727
URL <http://www.aj-pia.or.jp/>

MEDIA ^{The 10th} UNIVERSAL DESIGN COMPETITION



この印刷物は CSR に取り組む印刷会社が、印刷事業において発生する CO₂ 全てをカーボンオフセット(相殺)した[CO₂ ゼロ印刷]で印刷しています。また、FSC® 森林認証紙にノン VOC インキ(石油系溶剤 0%)など印刷資材と製造工程が環境に配慮されているグリーンプリンティング認定工場で印刷しています。メディアのユニバーサルデザインを推進する NPO 法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会が「より多くの方が使いやすい見やすいメディア」であると認めた印刷物です。

※本書内容の無断掲載・転載および不正使用は固くお断りいたします。

※本書によって発生した問題・トラブルに対してはいかなる場合においても一切の責任を負いかねます。